

先生各位

## 麻疹ウイルス抗体の検査方法と出検方法のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、報道されておりますとおり、最近東京をはじめとして関東地方を中心に麻疹が流行しています。そこで下記に、麻疹ウイルス抗体の検査方法と出検方法についてまとめましたので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### 1. 麻疹感染診断

麻疹特有の症状、麻疹ワクチン未接種を確認した上で、補助診断として麻疹ウイルス抗体を検査します。  
出検方法と感染診断基準：主に（１）（２）のいずれかの検査方法で診断します。

（１）HI 法の場合、急性期と回復期のペア血清でご出検いただき、抗体価の 4 倍以上の上昇を確認します。  
（HI 法においては単一血清では、感染診断は出来ません。）

（２）EIA 法の場合、単一血清で IgM 抗体の陽性を確認します。

#### 2. 既往感染者あるいはワクチン接種者の確認

現時点での特有な臨床症状がないことを前提として、麻疹ウイルス抗体を検査します。  
出検方法と診断基準：主に（１）（２）のいずれかの検査方法で診断します。

（１）単一血清で HI 法の陽性を確認します。

（２）単一血清で IgG 抗体（EIA 法）の陽性を確認します。

なお、ワクチン接種者の免疫成立確認のための抗体検査は、接種後 6 週間目が適当とされています。  
下記に上述の検査方法の検査要項を掲載いたします。

検査コード	検査項目	検体量 mL	保存条件	容器	実施料判断料	所要日数	検査方法	基準値
S 1580 L 1780	HI	血清各 0.2 または 髄液各 0.4	凍結	A1	75 免疫	5 ~ 7	HI 法	血清 8 倍未満 髄液 1 倍未満
S 1583 L 1783	IgG			A2 または U2	230 免疫	4 ~ 6	EIA 法	血清 2.0 未満 (-) 髄液 0.20 未満 (-)
S 1584 L 1784	IgM							血清 0.80 未満 (-) 髄液 0.80 未満 (-)

注) 検査コード S: 血清、L: 髄液

(参考) 国立感染症研究所感染症情報センターホームページ：麻疹

<http://idsc.nih.gov/jp/disease/measles/index.html>

中でも「医療機関での麻疹対応について（初版）」が役に立ちますので、ご覧ください。

<http://idsc.nih.gov/jp/disease/measles/mhosp-ver1.pdf>